

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	ケアチェック表の各特記欄には、課題などを中心に記載している。今後は日々観察している「ADL・IADL等の有する能力」「できそうなこと」「理由分析」等も追記し、今後の短期目標とケア内容に活かしていく予定である。	・ケアチェック表へ「ADL・IADL等の有する能力」や「できそうなこと」を追記し、短期目標・ケア内容に活かしていく。	・入居者一人ひとりの「ADL・IADL等の有する能力」や「できそうなこと」の把握をする。 ・把握した内容をケアチェック表へ記載し、それをもとに短期目標やケア内容に活かす。	6 ヶ月
2	4 (3)	今後も会議の議題の検討を続けていく予定である。議題に応じて、ご参加頂けるゲストを検討するなど、地域の未来を共に検討していくと共に、法人の理念「地域の役割と責務の遂行に努めます」の実践に繋げていく予定である。	・会議の参加者と共に検討を続けながら、法人理念「地域における役割と責務の遂行に努めます」の実践につなげていく。	・会議参加者と共に地域の未来を考え、それを実現する為の年間計画を立てる。 ・実現する為の手段・ゲストを決め実行する。	24 ヶ月
3	35 (13)	前回の外部評価以降、ハザードマップの再確認や避難所(小・中学校等)を実際に訪問する取り組みも行った。今後は更に、法人全体で自然災害(豪雨・地震等)の防災計画を完成させると共に、計画に基づいた訓練方法を検討する予定である。「災害時の持ち出し袋」などの適切な保管場所の検討や、家具等の転倒予防対策も行う予定である。	・法人全体での防災計画を作成し、防災訓練を実施する。 ・非常持ち出し袋の適切な保管場所を決める。 ・家具等の転倒予防対策をする。	・併設の施設の防災担当者も交えて防災計画を作成して一緒に訓練を実施し、必要に応じて消防職員の助言をもらう。 ・職員で話し合い非常持ち出し袋の保管場所を決める。 ・家具等の転倒予防の方法を調べ、実施する。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月